

令和3年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 9月予報

【 水稲 】

トビイロウンカ * 病虫害発生予察注意報第2号 (R3.7.8付) 発表

美濃地域の予察灯で6月下旬～8月中旬に誘殺が確認されています。これまで西日本を中心に5府県で注意報が発表され、本県でもすでに広域で飛来している恐れがあるため、今後ハツシモなど晩生品種では発生に注意してください。発生を確認した場合、使用時期(収穫前日数)等の農薬使用基準を遵守し、薬液が株元にかかるよう散布してください。

いもち病(穂いもち) * 病虫害発生予察注意報第4号 (R3.7.29付) 発表

8月中旬以降の曇雨天により、出穂期を迎えている一部の晩生品種では上位葉に葉いもちの発生が確認されました。今後の天候によっては穂いもちの多発が懸念されることから、出穂期の防除は確実に実施してください。

【 野菜類 】

トマト灰色かび病 * 病虫害発生予察注意報第5号 (R3.8.27付) 発表

梅雨明け後も降水量が多く、日照時間の少ない期間があったため、8月下旬調査において、葉先枯れ部や花がら等に発生が多く認められました。今後も曇天が続くと、罹病部位から果実に感染が拡大すると予想されます。発生が確認されたほ場では直ちに対策を実施してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期(9月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水稲	生育(ハツシモ)	並	<穂ぞろい>						・8/15調査(6/10田植:農業技術センター)
	穂いもち	やや多			<発生最盛期>				・穂いもち 穂ばらみ期～穂ぞろい期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	多							
	ツマグロヨコバイ	やや少		<第4世代幼虫>					・ツマグロヨコバイ 幼虫最盛期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	多	本 田 へ の 侵 入 (出 穂 以 降)						・斑点米カメムシ類 穂ぞろい期～乳熟期に防除を実施する。
	防除適期		▲	～	▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ				
大豆	生育(フクユタカ)					<着莢>		・7月第4半旬は種	
	カメムシ類	並	本 ぽ へ の 侵 入 (着 莢 期 以 降)						・カメムシ類 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	並	< 発 生 量 増 加 >						・ハスモンヨトウ 白変葉を認めたら直ちに防除する。
	防除適期								
かき	ハマキムシ類	並						・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	防除適期							・着色始期までに防除を実施する。	
なし	黒星病	多			< 発 生 量 増 加 >				・収穫後の秋期防除を徹底する。
	防除適期			▲黒星病 ～					
果樹	カメムシ類	やや少	< 新 世 代 成 虫 >						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。
	防除適期								
野菜・花き	灰色かび病	多	< 発 生 量 増 加 >						・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤抵抗性の発達)。
	ハスモンヨトウ	やや多	< 発 生 量 増 加 >						・灰色かび病 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	やや少	< 発 生 量 増 加 >						・アブラムシ類 苗からの持ち込みに注意する。
	アブラムシ類	並							・ハスモンヨトウ・タバコガ類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	コナジラミ類	並							・コナジラミ・アザミウマ類 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展張による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	アザミウマ類	やや少							
	防除適期								

注1) ▲、▲～▲: 防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

灰色かび病（夏秋トマト）

8月下旬の発病状況調査では、各地域の平均発病株率は68.0%と高く、ゴーストスポットを含む平均発病果率は中濃地域で9.6%、東濃地域で5.5%と8月上旬調査時より発生量が増加しています（表1）。

本病は20℃前後の比較的低温で90%以上の高湿度が連続すると蔓延が著しくなります。1か月予報では、日照時間、降水量ともに平年並と予想されていますが、秋雨前線による影響も考えられることから、発生が増加することも想定されます。

本病は花がらや葉先枯れ部などの枯死した部分に大量に胞子を形成するので、枯死部は早めに取り除くとともに、早めに薬剤により防除を実施してください。

表1 令和3年度トマト灰色かび病発生状況調査結果

調査地点	8月上旬				8月下旬				
	発病株率 (%)	発病果率 (%)			発病株率 (%)	発病果率 (%)			
		計	腐敗果	ゴーストスポット果		計	腐敗果	ゴーストスポット果	
郡上市	—	—	—	—	56.0	3.8	1.6	2.2	
中濃地域	白川町	32.0	2.8	0	2.8	80.0	15.3	1.1	14.2
	平均	32.0	2.8	0	2.8	68.0	9.6	1.4	8.2
東濃地域	中津川市①	—	—	—	—	100.0	7.7	3.2	4.5
	中津川市②	—	—	—	—	4.0	0.2	0.2	0
	恵那市	24.0	3.5	0.7	2.8	100.0	8.5	0.3	8.2
	平均	24.0	3.5	0.7	2.8	68.0	5.5	1.2	4.2

カメムシ類

岐阜市則松に設置した予察灯では、果樹カメムシ類が7月までの少発生から転じて、8月上旬以降急増しています。チャバネアオカメムシだけでなく、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシも増加が認められています（図）。

また、チャバネアオカメムシ新世代成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果の口針鞘数（カメムシの吸汁痕）が急激に増加しています。口針鞘数が1果当たり25本に達すると、ヒノキ林からの離脱が始まるとされていますが、地点によっては8月末にはカメムシの離脱が始まると予測されます。カメムシの飛来を確認したら、直ちに防除を実施してください（表2）。

表2 ヒノキ1果当たりの口針鞘数 (本/果)

	岐阜市 東秋沢	大野町 寺内	美濃加茂市 下米田	美濃市 曾代
7月中旬	0.1	0.1	—	—
7月下旬	0.7	0.5	—	—
8月上旬	1.4	7.9	—	—
8月中旬	4.8	18.6	7.5	6.4

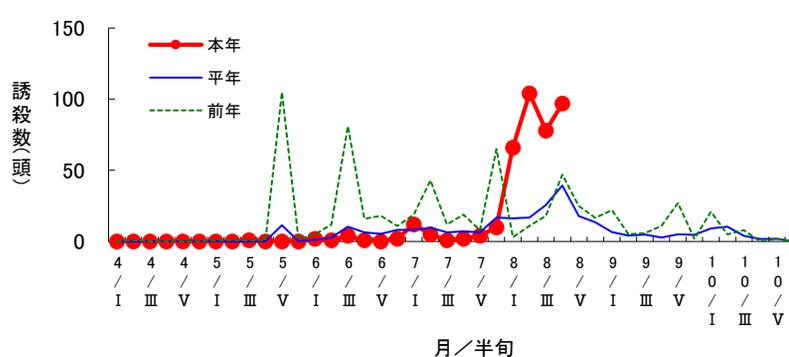


図 予察灯によるツヤアオカメムシ誘殺数の推移(岐阜市則松)

農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 8月26日発表)

向こう1か月の気温、降水量、日照時間は平年並と予想されます。天気は数日の周期で変わるでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

[http:// www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/](http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/)

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード